

「剣道の理念」理解の深化に向けて（普及委員会 資料）差替え版

1. 「剣の理法説明版」とは何か？

《本文》

「『剣の理法』とは、気剣体一致した打突を生み出すために心法・刀法・身法を一体としてはたらかせる理にかなった方法のことである。」

《補足》

「気剣体一致した打突は、心法（心のはたらき）と刀法（刃筋・物打・鎗などが機能する刀・木刀・竹刀の適正な操作）と身法（体勢・体さばきなどの身体の運用）とが一体となっているものである」

2. 「剣の理法説明版」作成の背景

3. 「剣の理法説明版」の内容

4. 「剣の理法説明版」の活用を含めた今後の展開

5. 「指導等に係わるポイント」

◆【「剣の理法」の説明版】は「剣の理法」についての全剣連の見解を明確に示すものである。

①「剣の理法」を定義した。

②主な対象層は4段—5段クラスの若手指導者としている。（全剣道人を対象としつつ）

◆ 指導は指導者の裁量に任せる

①具体的な指導については、指導者の経験・修練・知識などをもとに、指導者の裁量に任せる。（指導者の指導法を尊重する）

②指導者は、特に《補足》に示されている心法・刀法・身法それぞれの（ ）内の用語・内容を、受講者のレベルに適した用語に置き換えて説明することが大切であり、このことは指導上極めて重要である。

③本資料が正しい指導の手掛かりとして広く利用されることを切に願う。